

【ご参考資料】

2014年9月19日

スコットランドの独立に関する住民投票について

スコットランド独立は住民投票で否決

2014年9月18日(現地時間)、スコットランドが英国から独立することの是非を問う住民投票が実施され、即日開票の結果、否決されました。

住民投票は英政府とスコットランド自治政府が2012年に署名した合意書に基づくものです。直近の世論調査では賛成派と反対派が拮抗しており、結果が注目されていました。

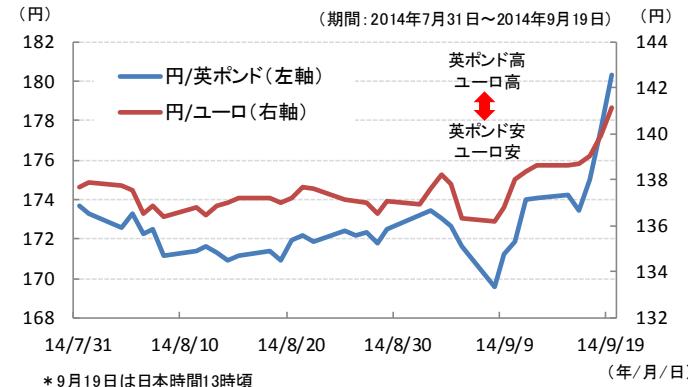
スコットランドは英国全体の人口の8%強、国土の3割強を占め、域内には北海油田や原子力潜水艦の拠点などがあります。独立が決定した場合、英國における景気悪化や政治的混乱が起こる可能性が指摘されており、他地域への悪影響も懸念されていました。経済が混乱するリスクに備え資金逃避の動きが見られたこともあり、市場は警戒感を強めていました。

外国為替市場では英ポンド高が進む

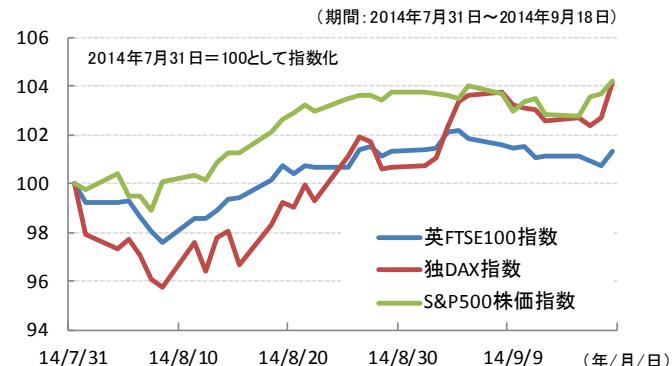
日本時間の9月19日10時頃には、一部地域において独立反対派が優勢とする結果が出たことが報じられ、英ポンドは対円、対米ドルで大きく上昇しました。日本時間13時現在、英ポンドは対円で前日比1.6%程度、対米ドルで同1.1%程度の上昇となっています。

以上

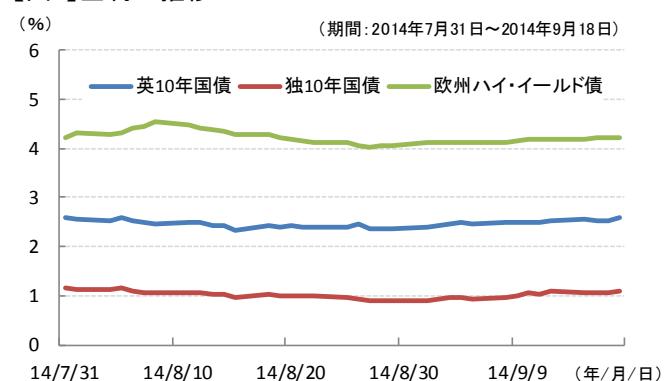
【図1】為替市場の推移



【図2】株式市場の推移



【図3】金利の推移



歐州ハイ・イールド債:BofA・メリルリンチ・ヨーロピアン・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。